耕作放棄地対策として水田放牧を視察

長門農林事務所畜産部
平成 21 年 3 月 4 日

佐賀県鹿島市の職員等５名が、２月１９日に長門市油谷向津具の３放牧場を視察しました。

視察の目的は、拡大する耕作放棄地をくい止める方策を牛の放牧に見い出そうと全国の先進地である長門市油谷向津具地区の水田放牧の効果を確認することでした。

放牧牛の想像以上の活躍を目の当たりにし、確信を得た様子で、最初は抽象的な質問ばかりでしたが、次第に現場を想定した具体的な質問が多くなり、最終的には、耕作放棄地対策の選択肢の一つとして考える方向で帰路につかれました。

長門農林事務所は、耕作放棄地対策として、牛の放牧により農地保全管理が図られるよう今後とも協力していきます。

棚田での放牧の様子

急な斜面での放牧の様子